

# 祐善寺だより

第11号

発刊日

2003年10月27日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡朝日町上糸生・森 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



花びらは散っても

花は散らない

形は滅びても

人は死なぬ

金子大榮

## 祐善寺自笑師顕彰碑移転にあたって

住職 岡崎 賢

当寺第十八代住職で、詩画に長け、明治初期の東本願寺中国開教史に残る祐善寺自笑師の顕彰碑は、昭和三十年代に下小川区祐善地（祐善寺が建っていた場所）に在ったものが、道路拡幅工事によって、道路脇の川沿いに移されて今日まで参拝されてきました。

しかし、先年、小川地区を襲った集中豪雨被害で自笑師顕彰碑も川沿いに在ったため、集中豪雨の被害をもろに受けて浸水し、一部の石が流されました。また、道路脇にあつたため、顕彰碑の前が、土木工事の際、頻繁に土砂置き場になったりして、祐善寺自笑師の顕彰碑を訪ねる人々の心を痛めてきたことも事実でした。

この度、下小川地区の皆様のご発意により、自笑師顕彰碑は、元の祐善地の蔵屋敷跡（野村治良左エ門氏から聴取）の一段と高い所に移転、立派に完成していただきました。

祐善寺自笑師顕彰碑は、『丹生郡史』にも詳しく紹介されておりますように、歴史的にも存在価値がありますが、これで祐善寺自笑師顕彰碑を訪れる人々を、心おきなく迎えることができることと思えます。

この移転工事に物心両面にわたり全面的にご支援いただきました小川地区の皆様、始終お世話いただきました野村様に衷心より厚く御礼申し上げます。

皆様も、立派に移転完成した祐善寺自笑師顕彰碑を一度訪ねて、ご参拝していただきますならば、有り難く存じます。



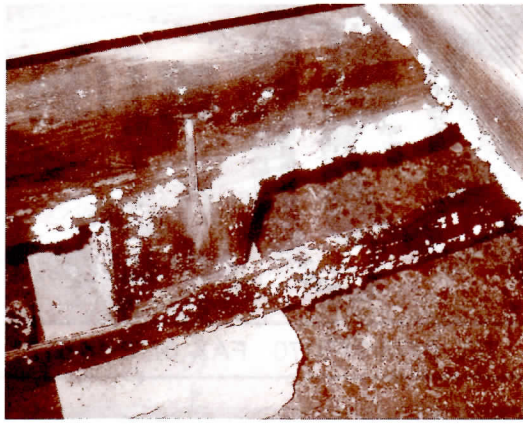
下小川区の道路脇に建っていた自笑師顕彰碑

# 庫裏床下部が腐食

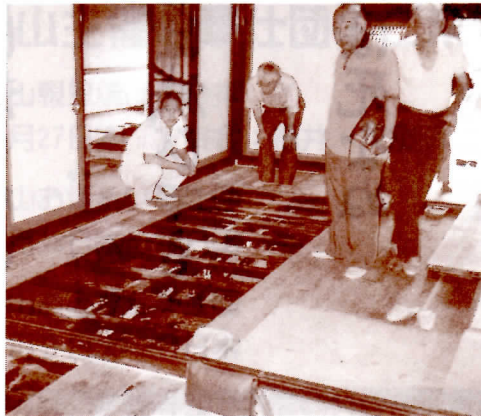
# 修復工事完成

平成六年暮れに門信徒の皆様の尊い御懇志により再建していただいた当寺庫裏の床下部が、湿気等によって「つか」や「おおびき」等が腐食していることが発覚しました。まったく想定せざることでありまして、祐善寺役員会を緊急に開催して対応策を検討、八月十日には、臨時門徒総会を開催させていただきました。経過説明のあと、庫裏修復工事についてご提案申し上げ、基本的にご承認いただきました。

腐食に至った原因につきましては、



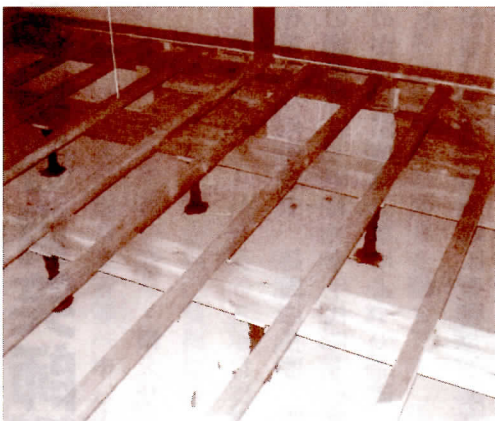
腐食のひどい箇所はコケが生えていた



床下腐食部を心配そうに確認するご門徒方

また充分に説明されておりませんが、再びこのようなことが繰り返さないように願うばかりです。

修復工事の概要につきましては、床下部の結露・湿気等を遮断するために断熱材、防湿土間シートの上にコンクリートをべた打ちし、床下の風通しを良くするために風窓を従来より拡げ、換気孔を増やす、というものです。床下の換気を促進するために、床下換気扇の設置も検討しましたが、一、二年様子を見てから再検討するというところで、今回設置は見送られました。また、



湿気上がりを防止するため、床下にコンクリートがべた打ちされた



志納所床下のシロアリ防除工事

本堂から志納所にかけて、シロアリの被害が確認されましたので、今回、シロアリ防除工事も併せて行うことに決めさせていただきました。

お陰様で、修復工事はこの程完成しました。皆様には、再建して十年も経たずに、このような事態でご迷惑をお



床板を張り直して修復工事も完成

かけしますことを、誠に申し訳なく思っています。皆様には、出費ご多端の折りから、庫裏修復工事に寄進のご依頼をさせていただきます。誠に恐縮に存じますが、どうかご懇念を賜りますようお願い申し上げます。

## 庫裏修復工事寄進のお願い

● 一戸平均 二五、〇〇〇円

● 志納期限 十一月十日

● 志納方法 地区の役員さん、

もしくは祐善寺まで直接お申し出下さいませよう、お願いいたします。

# 本年度同朋会終わる!!

毎月第一日曜日、午前八時三十分から十時まで実施しています同朋会は、十月第一日曜日（五日）で六回実施して、本年度計画分を終了しました。

同朋会に参加されるメンバーは、殆ど固定されてきたようですが、私は、これはこれで意味があると考えております。定まった寿命を生かさせていただいている私たちは、絶えず聞法していくということをおぼえてはならないのですが、どうも聞法するということがあとまわしにされているようです。

しかし、毎月第一日曜日に寺へ集まっていた皆様と、仏法を少しずつつたないながらもひもといていきますと、とても豊かな時間を過ごさせていただき、とても有り難い気持ちをいただくことができます。

遠く滋賀県から参加して下さいます桑原様も、福井からも、鯖江からも、西田中からも、小倉からも、大玉からも、そして森からも日曜日の忙しい時間を割いて当寺同朋会に参加して下さい皆様と、今年も聞法できましたことを、とても嬉しく思います。

なお、本年度の同朋会は、先ず、正信偈のおつとめから始まって、御文を拝読した後、月の言葉について意見交

換、そして「真宗の正しい理解」ということで、毎月テーマを変えながら座談をして参りました。

「真宗の正しい理解」のテーマは、次の通りでした。

### 第一回（三月）

① 真宗のお経『浄土三部経』とは？

② 「御伝鈔」「御文」とは？

### 第二回（四月）

① 真宗の御本尊とは？

② お内仏（仏壇）にお水を供えるか？

### 第三回（五月）

① 法名と戒名

② 真宗の葬儀とは？

### 第四回（七月）

① 仏花は何故、阿弥陀様に向けないか？

② 何故、線香は、ねかすのか？

### 第五回（九月）

① 何故、「門徒」と呼ぶのか？

② 何故、お墓に水をかけるのか？

### 第六回（十月）

① 報恩講とは？

② お仏飯とは？

同朋会は、来年も続けて行きたいと思っておりますので、よろしくお願います。

## 炎天下での草刈り奉仕

毎年、梅雨明けを待って、お盆前に寺周辺の土手、車道、裏庭等の草刈奉仕作業が、朝日町在住のご門徒さんによって交代で行われます。

今年の草刈作業は、森・杖立地区のご門徒さんを中心に、七月二十七日、炎天下で行われました。

寺周辺の急傾斜の土手は、草刈機できれいに刈っていただきました。また、かなり伸びていた境内の庭木類もきれいに剪定していただきました。

炎天下での草刈作業は、本当に大変ですが、皆さん一生懸命に草刈りに取り組んでいただきました。大変有り難いことです。

暑い中で作業して頂きました皆さんに心から敬意を表します。



炎天下での草刈り奉仕作業は大変！

## 永代経会 盛大に厳修

本年度の永代経会は、例年のように八月七日、厳修いたしました。

暑く、しかも平日ではありましたが、大勢の門信徒の皆様がご参詣いただきましたこと、本当に有り難うございました。

お昼の御齋、二時からの勤行に続いて、大門照忍師による布教がありました。その後、この一年間の物故者の祐善寺総墓への収骨が行われました。

今年の永代経会もまた、台所や志納所に、ご門徒のご協力をいただきました。有り難うございました。



今年の永代経会にも大勢の方に参詣いただいた

# 年忌法要を

## お勤め下さい

今年も、残すところ僅かとなってきましたが、まだ年忌法要を勤めていただいていないお方は、是非年内に勤めていただきませうようお願いいたします。

なお、今年の年忌表は、左記の通りです。

百回忌	明治三十七年没
五十回忌	昭和二十九年没
三十三回忌	昭和四十六年没
二十五回忌	昭和五十四年没
十七回忌	昭和六十二年没
十三回忌	平成三年没
七回忌	平成九年没
三回忌	平成十三年没
一周忌	平成十四年没

# 本山奉仕団中止

『祐善寺だより』第十号でもお知らせしました本山奉仕団への募集が、参加申込者が足りなかったために、五月三十一日から六月二日までの本山奉仕団を中止させていただきました。

申し込みをされた方は、本山での二泊三日間の奉仕団参加を随分楽しみにしておられました。バスをチャーターする関係上、参加者が少ないと一人当たりの経費が膨らむことでもあり、今回の本山上山奉仕団を断念せざるを得ませんでした。

参加申し込みをされた皆様には、大変申し訳なく思っております。

本山への上山奉仕団は、一般の旅行とは違って、確かに面白くはないかも知れませんが、本山での三日間は感動的であり、生涯忘れられない思い出となるものですが、やはり一般の旅行のような快樂なものの方が受け入れられるのでしょうか？

今回は残念な結果になりましたが、次回のチャンスに期待したいものです。

# おくやみ

清水福蔵様（福井市花堂北二丁目）には、九月十六日、行年九十六歳にて往生の素懷を遂げられました。  
御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。



# 投稿のお願い

この『祐善寺だより』の発行を支えて下さるのは、皆様からの投稿やご協力が不可欠です。

どうか、日頃感じられている「宗教」の話や、社会の出来事についての感想、生活で感じられていること、本山や祐善寺に対してのご意見など、どのようなことでも結構です。どしどしご投稿下さいますようお願いいたします。



## 平成14年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に亙って護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおとりご志納下さいますようよろしくお願ひします。

### ◇護持費の使途

- ・報恩講の厳修費や本山奉仕団補助等、教化事業の実施
- ・本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・福井別院御遠忌負担金
- ・本山相統講、福井教区賦課金等
- ・その他

### ◇年額

一戸平均 一〇、〇〇〇円

### ◇志納方法

- ・寺へ直接志納する
- ・秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・地区の役員さんに志納する
- ・郵便振替口座

(〇〇七七〇—九一三〇七二一)

・加入者＝祐善寺へ振り込む

### ◇志納期限

毎年十一月末日

# 第3回

## 御和讃講座

### 解脱の光輪きわもなし

迷いから解放されてはなれた  
光は、きわまりがなく

### 光触かぶるものはみな

その光に触れる人々は、皆

### 有無をはなるとのべたまう

有るとか無いとかに  
とらわれる邪見をはなれると  
教えられている

### 平等覚に帰命せよ

平等のさとりである  
南無阿弥陀仏に帰する他は  
ないのです

#### 其の七

### 仏事 一口メモ

#### お仏供(ぶく)

お内仏(仏壇)の大小にかかわらず、必ず揃えていただきたい仏具には、前回までお話してきました三具足(花瓶・香炉・燭台)のほかに、仏器があります。仏器とは、米飯を仏前にお供えする際に使う仏具(器)をいいます。そして、仏前にお供えする米飯のことを「お仏供」といいます。あるいは、お仏飯、お鉢、仏餉ともいわれます。以前から、お仏供をお供えする理由には報徳の義があるといわれています。これはどういう意味でしょうか。申すまでもなく、私たち人間は、時と共に老い衰え、病にもなり、ついには死をむかえなければなりません。こういう私たちに阿弥陀如来は、永遠にして不滅のいのち「無量寿」を念仏申す人に与えてくださいました。しかしこの無量寿とは、いつまでも若くて、老いも衰えもしない長生不死の身をたまわったということではありません。現実の老い、病み、死から生じる迷い・苦しむ身に安らかさを与えてくださるのです。それは、老、病、

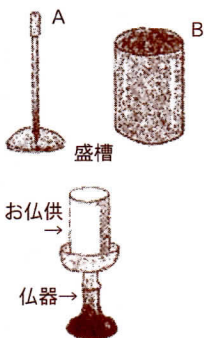
死の現実を引き受けることのできる身になったことでしょうか。

米飯は、私たち人間の生命を保持し生かすための食べ物(主食)です。この大切な食べ物を自分だけのもの(我執・我欲)にせず、無量寿といういのちを与えてくださる阿弥陀如来にお供えするという、報徳の心がお仏供を生んだものと思われまます。そしてまた、お供えしたお仏供をいただくことをとおして、無量寿の心をいただいていたのであります。

お仏供は、毎朝炊き立てのご飯を一番最初に盛槽で形を作り、仏器に盛ってお供えします。正式には、朝のお勤めの後にお供えし、正午にお下げします。お供えする場所は、お内仏の中央上段(ご本尊の前)になります。

近年、核家族や一人住まいの方が多くなり、また嗜好の多様化も加わり、朝食をパンにすると、夜にご飯を炊くというご家庭が増えてきました。これまでのお仏供の習慣が合わなくなっています。まずは、お仏供の意味を熟知することから始めていただきたいと思ひます。

「サンガ」より



お仏供は、円筒形の筒(B)に米飯をつめ、Aでお仏器につきだして盛りまます。この道具を盛槽と申す。

# お知らせ



## 報恩講

十一月二日(日)

日中 午前十時より

法話一席

速夜 午後二時より

法話二席

満座 午後七時より

御伝鈔拝読

法話一席

布教 出雲路善嗣師

皆様お誘い合わせの上、  
ご参詣下さいますようお願い申し上げます。

### ラジオ放送

#### 『東本願寺の時間』

- ・福井放送 (FBC)
- ・毎週日曜日
- ・午前7時30分～7時40分

日曜日の朝は、FBCラジオの「東本願寺の時間」から始まります。

### 本山主催の奉仕団のご案内

- ・本山報恩講団体参拝  
11月27日(木) 集合：福井・東別院
- ・本山お煤<sup>すす</sup>払い奉仕団  
12月18日(木)～20日(土)
- ・本山おみがき奉仕団  
3月9日(火)～11日(木)

詳しくは、祐善寺までお問い合わせ下さい。

## 入門 介護保険

### 福祉用具貸与・購入とは？

身体が不自由になったお年寄りの、不自由になった部分をサポートしてくれる道具・器具を「福祉用具」といいます。

この福祉用具のレンタル代や購入費用を給付するサービスが「福祉用具貸与・購入」です。介護保険で貸与が認められる福祉用具は、次の十二項目です。

- ①車イス ②車イス付属品 ③特殊寝台 ④特殊寝台付属品 ⑤じょくそう予防用具 ⑥体位変換器 ⑦手すり ⑧スロープ ⑨歩行器 ⑩歩行補助つえ ⑪痴呆性老人徘徊感知機器 ⑫移動用リフト(吊り具の部分を除く)

また、購入が認められる福祉用具は、①腰掛け便座 ②特殊尿器 ③入浴補助用具 ④簡易浴槽 ⑤移動用リフト吊り具の五項目です。それぞれ一割が自己負担になります。福祉用具の貸与・購入サービスは、各指定事業者等へ申し込めます。

## 編集後記

★今年のカレンダーも残り少なくなってきましたが、本当に天候の不順な年であったように思います。こちらでは、農作物が天候やイノシシの被害で大変な打撃を受けたというご苦労話をあちこちで聞きます。本当に大変でございました。お見舞い申し上げます。

★被害と言えば、まだ落慶して十年も満たない庫裏の床下部が、湿気等によつてボロボロに腐食してしまいました。あまりもの惨状に、絶句してしまいました。役員各位をはじめとする、ご門徒各位のご懇念により、先日、お陰様で修復工事も完成しました。心より御礼申し上げます。

★完成と言えば、自笑師顕彰碑も、小川地区の皆様の全面的なご支援で、元の祐善地へ移転、完成しました。心より敬意を表します。

★今年も報恩講が近づいてきました。親鸞聖人のご苦勞を偲びながら、お迎えさせていただきます。今年の当番の天谷・朝日・新庄地区のご門徒さん、有り難うございます。皆様、どうかご参詣下さいますように。